



市民の「困った」を
解消中

住みやすさNo.1の弥富へ

弥富市議会議員

横井かつのり

活動報告

【2020年7月24日 第2号】

●発行元 「横井かつのりと市政を語る会」

〒490-1413 弥富市子宝6丁目457番地

☎090-7952-5682

0567-52-2517

ゼロコロナ 後に ニッコリいな♪

✉ yokoi20@clovernet.ne.jp

あいさつ



盛夏の候、皆さまにおかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルスの「緊急事態宣言」が5月25日に全面解除され、また、6月19日には県境をまたぐ移動自粛も解除されるなど、少しずつではありますが、これまでの生活に戻りつつあります。しかし、完全に元の状況になるまでは、数年掛かるとも言われており、第2波、第3波にも備えていかなければなりません。皆さまとともに、ワンチームで力を合わせて頑張ってみましょう。

さて、6月議会では、一般質問や議案質疑など積極的に行いました。お陰様で、「横井かつのり活動報告」第2号を発行することができました。

今後とも皆さまとの対話を大切に、地域の課題などに真摯に取り組んでまいります。ご意見・ご要望などございましたら「横井かつのり事務所」まで、お気軽にお届けくださいます様、よろしくお願いいたします。

市議会議員 横井 克典

横井かつのり “地域の活動”

【ご要望の対応】

5月31日、四郎兵衛地区の方から、「西尾張中央道の中央分離帯に草が高く繁っていて、本線に進入するのに見通しが悪く大変危険なので、なんとかありませんか？」とのご相談を受けました。翌日、海部建設事務所道路維持課に出向いて、除草の要望をいたしました。

6月4日の午前中、同課機動班により除草を行っていただき、道路の見通しが大変良くなり安全が確保できました。県の迅速なご対応に感謝いたします。なお、皆さまの地域の問題などがございましたら、ご連絡ください。



除草前



除草後

【見回り活動】

4月初旬に西尾張中央道にある東蜷の歩道橋を渡ろうとしたところ、通路に敷いてある緑色のシートが捲れ、ひび割れしていて、そこから草が生えていました。子どもたちが、日ごろ通学路として利用するのに大変危険でありましたので、海部建設事務所の道路維持課に修繕をお願いしました。5月30日に、修繕工事が行われ綺麗（安全）になりました。県の迅速な対応に感謝いたします。

今後も、小さなことからコツコツと活動してまいります。



修繕前



修繕後

【ふれあいの活動】

(6月6日の本人 Facebook より)

こんにちは😊

本日は、午前6時半から竹田公民館前で地区の皆さんと恒例のラジオ体操を楽しんできました。皆さん、特別定額給付金が「振り込まれた。」「振り込まれない。」などと会話が盛り上がっていました。続いて、午前8時半からは、子宝環境保全体験の活動に参加してきました。参加者は40人以上で、農道沿いに、赤・白・黄色のポチュラカの苗を植えてきました。苗は、全て保全体験のメンバーで5月に芽挿しして株を増やしたものです。満開になるのがとても楽しみです♪



ホームページ、Facebook 随時更新中！！

HP <http://yokoikatunori.jp/profile.html>

Facebook 横井かつのり で

5・6月の市議会報告



5月臨時会（5/7、5/14）

【議案】「弥富市長の給与の特例に関する条例の一部改正について」及び「弥富副市長及び教育長の給料の特例に関する条例の一部改正について」の2議案

【結果】「**反対**」。理由としては、市の三役には、真摯にこの新型コロナウイルス感染症の難局に向き合って、しっかり仕事をさせていただくため。**（否決）**

【議案（議員提案）】「弥富市議会の議員報酬の特例に関する条例の制定について」

【結果】「**反対**」。コロナ禍において、市に支援策をしっかりと要望し、市民の安心と安全の確保が本務であり、報酬削減が本質的な解決にならないため。**（否決）**

【議案（議員提案）】「議長不信任決議」

【結果】「**賛成**」。訴訟の内容、結果はともかく現在は事実上、議長と市が係争状態となっている。これでは中立公正な議会運営、議事運営に支障をきたす疑念を抱かざるを得ないため。**（可決）**

6月定例会（5/29～6/24）



(1) 6月11日 本会議で「一般質問」を行いました。
(主なもの2つ)

《件名1》 令和3年度の予算編成について

《質疑》

平成26年度以降5年連続して赤字になっている実質単年度収支を、いつまでに黒字化させるのか。

《答弁》

新型コロナウイルス感染症の拡大による収支等の落ち込みが想定されることから、できるだけ早期に黒字化していく。

市は、具体的な年数を示すべき！

《件名2》 公共施設の今後のあり方について

《質疑》

保育所の民営化について、いつまでに具体的な実施時期や実施方法を打ち出していくのか。

《答弁》

再配置計画では、令和11年度までに実施することになっているので、できるだけ早い段階で方針を打ち出していく。

市は、具体的な年数を示すべき！

(2) 6月15日 本会議で「議案質疑」を行いました。

《件名》 令和2年度一般会計補正予算について

《質疑》

国（1次補正）からの地方創生臨時交付金が、9,348万5千円と歳入に予算計上されているが、どのような新型コロナウイルス感染症対策の事業に交付金を充当させるのか。充当額などについて、説明を求める。

《答弁》

感染症対策協力金交付事業に6,781万4千円、子育て世帯臨時特別給付金給付事業に3,135万円、理美容休業協力金事業に924万4千円などに充当する。

(3) 6月17日 行財政委員会で、3つの質問を行いました。
(主なもの1つ)

《件名》 ふるさと応援寄附金の募集について

《質疑》

新型コロナウイルス感染症による難局に対し、ふるさと応援寄附金を募集してはどうか。市の考えを問う。

《答弁》

要望どおり、市は新たに項目を追加することとした。
ふるさと納税申込書の「活用を希望する取組」の選択肢に、「新型コロナウイルス感染症対策」の項目を追加する。

要望どおり、市は新たに項目を追加することとした。

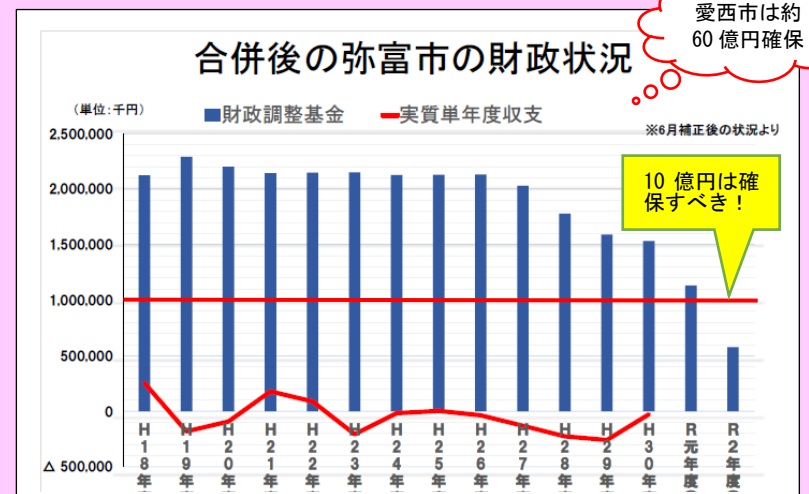
【特集】 弥富市の財政状況

～ 第2の夕張市にならないために ～

「財政非常事態宣言」の発令を！！

弥富市は、他の自治体同様に「少子高齢化」や「人口減少」の到来により、社会保障費の増加や市税収入の減少などが予測されています。さらに、1955年以降の高度経済成長期に一斉に整備された小中学校を始めとする公共施設の修繕や建て替えなど、今後莫大な経費が掛かることが見込まれており、市の財政に大きな負担になることも予想されています。これまで以上に行財政改革を推進しなくては、新たな市民サービスの提供だけでなく、既存のサービスさえ維持していくことは困難な状況に陥ることが予測されます。

市は、今回のような新型コロナウイルス感染症の想定外の対応や東南海トラフ地震を始めとする大規模災害の対応費用など、財源不足が生じたときのために活用する「**財政調整基金**」を設置しています。この自治体の「貯金」にあたる財政調整基金の令和2年度末の残額見込は、約5億7千万円まで減少していく見通しです。令和3年度予算も令和2年度同様の事業を行うと想定しますと、財政調整基金から約5億5千万円を取り崩す必要があります。しかし、残金は約5億7千万円ですので、残金が2千万円になり、令和4年度の予算編成が出来なくなります。



市は、本市の財政状況をきちんと市民に説明し、行財政改革に理解と協力を求める必要があります。それには、「**財政非常事態宣言**」を発令して市と市民が一丸となり財政の健全化を進めて行かなくてはなりません。財政の健全化を進めて行くには、事業の再編整理や施設の統廃合（民営化）などの経費削減や受益者負担の適正化など地域社会や市民の皆さまに多少の痛みを伴う行財政改革を実施せざるを得ない状況であると考えます。市民の皆さまには、市の行う行財政改革に対しまして、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。